

「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットしょうなん

BOSAI Never Ending Tension~終わりにき緊張感



ヒマワリはまちのシンボルです

2025(令和7)年12月10日/冬の防災活動特別号
自然災害に強いまちづくりをめざしましょう！

南海トラフ地震は30年以内に約80%の
確率で起きるそうです



イチ・ナナ・イチ

安否確認は電話で「171」の操作を覚えて ご家族皆で事前に備えれば安心感は倍増！

先月の岩手県沖群発地震、そして12月8日夜には北海道・東北北部太平洋岸での最大震度6強の地震が発生し、津波警報が発令されました。震源域が東日本大震災震源地にも遠くなく、大規模地震再来か？との不安がよぎります。二年前の能登半島地震は元日に発生しました。阪神淡路大震災もそうですが、寒い季節に発生していますので、今後も災害発生への準備を怠らないようにお願いします。

今回はいざという時に家族が離れ離れ中の安否確認をどうする？をテーマに、災害伝言ダイヤル171の活用方法を裏面でお知らせします。その体験利用日時やメッセージ案文は以下をご覧ください。是非一度は、ご家族で実践的に試してみましょう。一度行っておけば、きっと発災時にも慌てず行動できます。

災害伝言ダイヤル171は以下の日時に無料体験が可能です

日程	利用可能時間
毎月1日・15日	00:00～24:00
正月三が日	00:00～24:00
防災週間 (8月30日～9月5日)	8月30日9:00～9月5日17:00
防災とボランティア週間 (1月15日～1月21日)	1月15日9:00～1月21日17:00

出典：災害用伝言ダイヤル(171)体験利用のご案内 | NTT東日本

災害伝言の一例（録音可能時間は30秒間です）

- ✓ ○○です。今■■(具体的場所名)の安全な場所に居ます。怪我はしていません。大丈夫です。
- ✓ ☆☆です。会社(学校)建物内にいます。交通機関が動いてないので、こちらに宿泊します。
- ✓ お母さんです。今、自宅近くの◆◆(避難所)に家族皆で避難しています。全員無事です。

2025.12.10 付冬の防災活動特別号

災害伝言ダイヤル171の使用方法

携帯電話の充電切れに備え、お近くの公衆電話の利用も考えておきましょう。

10円・100円硬貨を常にお財布に入れておきましょう※。

※利用は無料ですが、アナログ公衆電話機は利用時に硬貨の投入が必要な場合があります。



お近くの公衆電話の設置場所も確認しておきましょう。

前頁記載の無料体験可能な日時で実際に「録音」や「再生」をやってみませんか？ 一度体験することで、いざという場合に必ず役立ちます。

① 「171」にかける



② 録音は「1」

再生は「2」

▶ メッセージを
録音したい場合は「1」
再生したい場合は「2」
を押す

③ 被災地の方の電話番号を入力する

被災地の電話番号である必要があります

④ 音声ガイダンスに従い伝言を「録音」または「再生」する

※録音時間は30秒

〇〇にいます。
無事です 〇〇

自分の携帯電話番号、
家族の携帯電話番号、
自宅の電話番号のどれでも可能です。
事前にどの番号とするかを家族で決めておきましょう。



利用可能：加入電話（プッシュダイヤル回線）
公衆電話、ISDN、携帯電話・PHS、IP電話

詳しい使用方法是こちらから動画（上映時間は1分50秒程）でも確認できます。
右のQR二次元コードを専用アプリで読み取ってご覧ください。



本紙面掲載情報の出典元：「NTT 東日本やNTT 西日本」の災害伝言ダイヤル案内サイト

2025.12.10 付冬の防災活動特別号

コチラの面を自宅内（冷蔵庫や掲示板）に貼り付ける、あるいは上記QRコードを切り取り、手帳などに貼って保管し、災害時に備えましょう。